コシヒカリ生育情報　第５号

令和４年７月 12 日
魚沼農業普及指導センター
電話：025-792-1309
FAX　：025-792-9006

急激な葉色低下！適切な穂肥と水管理で栄養維持！

【７月 11 日生育状況】（３か所平均）

平均田植日	草丈(cm)		茎数（本/㎡）		葉数（葉）		葉色（SPAD）	
	本年	指標値比	本年	指標値比	本年	指標値差	本年	指標値差
５月 19 日	72	116%	489	105%	11.1	+0.2	34.9	-2.6

○指標値比較【　草丈：長い　茎数：やや多い　葉数：並　葉色：淡い　】

・草丈は長く（１日あたり約 1.8cm 伸長）、倒伏が懸念される。
・葉色は急激に低下し（前回調査-6.3 ポイント）、栄養凋落が懸念される。
・向こう１か月（7/9～8/8）の平均気温は、高い確率 60%であるため（新潟地方気象台７月７日発表）、葉色の急低下に引き続き注意し、水管理と穂肥施用で葉色の維持・回復に努める。
・７月上旬まで降水量が少ない状況が続いており、水路や畦畔などからの漏水がないように点検・補修するなど、少雨への対応にも留意する。

【今後の管理のポイント】

１　こまめな水管理で稲体活力の維持

（１）　中干しは、出穂１か月前までには終了する。
（２）　中干し終了後は、浅水の間断かん水から徐々に飽水管理へと移行する。

２　コシヒカリの穂肥施用～出穂期は平年より「２日早い」予想～

（１）　出穂期予想と穂肥施用時期のめやす（ ７月 11 日現在）※　5/20～5/25 植えの予想
出穂期は気象条件により前後する場合があるため、必ず各ほ場の幼穂確認を行い穂肥を施用

予想出穂期	穂肥１回目		穂肥２回目		２回合計窒素量（kg/10a）
	出穂前日数	施用時期	出穂前日数	施用時期	
8/3	18～15	7/16～7/19	10	7/24	１～３

（２）分施体系の穂肥対応　～１回目の穂肥は適切に施用～
１回目穂肥　：幼穂長１cm の時に生育診断を実施し、下表を参考に適切に判断する。
２回目穂肥：後期栄養を維持するため、出穂 10 日前に確実に施用する。

穂肥施用時（幼穂長１cm）の稲姿	１回目穂肥対応の考え方	１回目穂肥の対応	
		施用時期	窒素施用量
穂肥が施用できる稲姿（基準） 草丈：75cm以下 葉色：SPAD値31～33（葉色板　単葉3.7～4.1）	基準どおりの時期・量で施用	出穂前18日	1.0～1.5kg/10a
基準より草丈長く、葉色淡い	遅めに施用	出穂前15日	1.0kg/10a
基準より草丈長く、葉色濃い	遅め・控えめ、または施用しない	（出穂前15日）	0～1.0kg/10a

※基肥一発肥料の場合は、幼穂形成期から飽水管理に切り替え、窒素成分の溶出を促す。

３　病害虫防除の徹底

（１）　葉色の濃いところを中心に葉いもちの早期発見に努める。
（２）　斑点米カメムシ類防除のため、農道・畦畔の草刈りや水田内雑草の除去を徹底する。